

第一回埼玉スタジアム2002公園管理運営指針策定委員会  
委員会における主な意見

- ・ 今回の管理運営指針は、埼玉スタジアムを取り巻く環境の変化を捉え、様々な分野に所属されている委員の方々から戴いたアイデアを、今後、実施することができるような表現・内容とすることが必要である。
- ・ 従前のように大規模試合のみに注力してはいけな時期に来ていると認識している。
- ・ 指針で、幅広い種類の試合開催を謳っていくことの検討が必要である。
- ・ 試合は興行の舞台であり、スポンサーのプロモーションに寄り添う演出が重要である。また、会場を装飾するためのデジタルサインやLEDの整備は必須であると考ええる。
- ・ 利用促進を進める上では、芝の管理について研究していくべきである。
- ・ サブグラウンドでの利用を含めて、埼玉スタジアムのブランドである天然芝のメリットを幅広い層に受けていただくことが重要である。
- ・ 大規模試合開催前後の4日間の確保は芝の管理の質を下げないために必要な期間であり、試合環境の質を下げることなく、より多くのイベントを実施できるよう努力することが大切である。
- ・ 地域性、テーマ性を持った埼玉スタジアムならではの企画を実現することが重要である。
- ・ 芝に負荷をかけながらコンサートを行わずとも、無理なくできるイベントは多くある。地元密着型イベントを断続的、長期的に実施していくことが重要である。
- ・ 埼玉を売り出すという埼玉スタジアムの目的を踏まえると、一定のスペースがあるのでそれを生かし、人が集まっても近隣に迷惑をかけないイベントとして、食フェスは適しているのではないかと考える。
- ・ スタジアム内と園外が連携したイベント、例えばサッカーをテーマにした脱出ゲームなどの開催やeスポーツの会場としてのスタジアム利用も考えられる。
- ・ マルシェなど、広場を活用して地元の方が交流できるイベントを開催すれば、埼玉スタジアムが地域の交流拠点、賑わいの拠点となるのではないかと考える。
- ・ 今後、埼玉スタジアムで新しい利活用が増えた際、地域の方がどう受け止めるかが重要である。地域の方によく説明することに加えて、地域の方が満足するようなイベントを打ち出すことが必要である。
- ・ サッカー以外のイベントではなくサッカーでブランドを創り、地域に貢献していくことが重要である。
- ・ 試合の有無に関わらず、サッカーをテーマに常時来ることのできる環境、サッカーに特化した形でありながら、年間を通じてバランスよく人が利用するという環境づくりが重要である。

- ・ サッカーをテーマに楽しむことができるのは、サッカー好きに限定される。サッカーだけでは、今後人を呼び、賑わいをつくることは難しい。
- ・ 園内に広場が複数あり、いくつかのゾーンがつかれることも、食フェスとあわせて、複数の層に訴求するイベントを同時に開催できる点で強みになる。地面が土でなくコンクリートの空間があることも良さのひとつである。
- ・ 特に夏場は水の空間があると喜ばれる。
- ・ ピッチを使わず、映像を見せることで人を呼べる取り組みもある。オーロラビジョンなど今ある資源を有効に使っていく方向性を考えるべきである。
- ・ 芝の質確保は埼玉では最優先事項であるだろう。コンサートを埼玉で実施するには、芝を傷めない技術的な問題の解決と、サッカー試合開催を妨げず実施できるスケジュール確保が必要である。
- ・ 飲食や店舗は、試合開催日に使用不可となるスタジアム内ではなく外に設置すべきである。地域の方に常時使っていただけるような機能も付加できると良い。
- ・ 多くの人がある日が年に試合のある 30 日、という状況を変えることが大切である。例えば、企画展示内容が変わるサッカーミュージアムなど、何度も足を運ぶことのできる環境づくりが大切である。
- ・ サッカーミュージアムが必要と考える。
- ・ 指針では、スタジアム外で生じている課題等に対して、指針にどう位置付けるか考える必要がある。
- ・ バス優先に加えて、より一層、駅までの徒歩を促すことが重要である。駅からスタジアムの距離は遠くないと思うが、閑散とした中で歩く現状は改善が必要である。
- ・ 埼玉の渋滞を見ていると、来訪者が試合のみに関心を集めている印象を受ける。試合前後に試合と関連するイベントなどの企画があると、来園・退園時間が分散する。
- ・ 埼玉が 1 日滞在できる場所になる、周辺のまちなかも含めて 1 日楽しめる場所になるということを、指針に示すことを検討すべきである。
- ・ 東入口は構造上、車、バス、歩行者が集中し錯綜するため安全確保を図ることが重要である。
- ・ イベント時は音・交通渋滞など、周辺他施設への影響を考慮することも重要である。
- ・ スタジアムと調整池の境界部は、県・市が連携して、一体的に整備する検討をして欲しい。埼玉公園の範囲外における取組もあるが、来訪者を緑でもてなすという姿勢を、指針の中で示すことを検討する必要がある。
- ・ 地域の方の要望を取り入れることのできる体制を創出することが重要である。